

# 厳原港まつり 対馬アリアン祭

対馬最大のイベント「厳原港まつり対馬アリアン祭」が8月2、3日の2日間、厳原町で開催され観客数3万人で賑わいました。

初日は、海猿で話題になった巡視船「はかた」の入港セレモニーや体験航海が行われました。また、八幡宮神社から厳原港のメイン会場まで、約1.5kmのコースを、子供みこしが元気よく練り歩き、猛暑を吹き飛ばす威勢のよいかげ声や、笛の音が、城下町に響きわたりました。

午後6時30分からは、「演芸の夕べ」が開かれ、市民吹奏楽団の演奏、園児の踊り、和太鼓、韓国舞踊などが演じられました。

3日は、祭りのハイライト、「朝鮮通信使行列」が行われ、陸上自衛隊の音楽隊を先頭に、総勢400人の行列が、やぐら門からメイン会場までの約1.7kmを練り歩きました。

韓国からベギンセ舞踊団、ペクヤン高校、宮中吹打隊など約100人が参加し、伝統舞踊や、音楽を披露しました。

沿道を埋めた観客は、華やかな行列に拍手を贈り、手にしたカメラで、昔と変わらない友好の絵巻を写していました。

行列がメイン会場に到着すると宗対馬守と正使が国書を交換し、誠信交流を誓いました。祭りの最後は、対馬で唯一見られる三千発の花火が夜空を彩りました。

## ハイライト「通信使行列」



正使役 金秘漢(キム・ピルハン)さん



今年も行列を盛り上げてくれたベギンセ舞踊団



ペクヤン高等学校の宮中吹打隊

国書交換式



「欺かず・争わず・真実をもって交わり交流事業を大きく発展させましょう」と宗対馬守役と正使役が国書を交わし誠信交流の友好を結びました。

左から雨森芳洲役（前・厳原税関支署長武田政博さん）宗対馬守役（対馬地方局長池松誠二さん）正使役・金必漢（キム・ビルハンさん）、副使役・趙範衡（チョ・ボムヒョンさん）

対馬アリラン祭ハイライト



海上保安部 1 日船長・署長任命式



なんと、1位（九電工）と2位（海上自衛隊）のタイム差が僅か0.35秒と非常に珍しい結果に会場では、歓喜と落胆で騒然！皆さんおつかれさまでした。

激戦 舟ぐるう



もちまき



シーカヤックの指導を真剣に聞く子供たち



「ひとつばたご」の自生地が縁で、平成7年から地域交流を行っている岐阜県中津川市蛭川から小学生14名・中学生2名が、8月9日から11日までの3日間、上対馬町に訪れました。山に囲まれ、海で遊ぶことが少ない子供たちは、海のしよっぱさを全身で体感し、海水浴やシーカヤックなど、日頃経験できない体験に心はずませていました。

交流会では、地元小学生とパーベキユーを囲み「ひとつばたご」が満開のように笑顔の花が咲いた交流でした。

「ひとつばたご」が地域間交流にひと役

岐阜県蛭川ひるかわから16名が来島



みんなでハイ「チーズ」



きよくしたんじょう  
旭日単光章を受章

橘 殿母とのもさん(厳原町阿連)

元厳原町議会議員の橘殿母さんが、高齢者叙勲(旭日単光章)を受章されました。

橘さんは昭和60年から厳原町議会議員として平成9年まで、3期12年在職され、厳原町議会副議長などの要職を務めるなど、地域はもとより多面にわたり地方自治の発展に大きく貢献されました。

橘さんは、大正9年6月30日生まれの88歳、非常にお元氣な様子で、今回の受章をたいへん喜ばれていました。栄えある受章を心からお祝い申し上げます。

99歳(白寿)おめでとうございます。

齊藤菊江さん(美津島町久須保)

99歳を迎えられた美津島町久須保の齋藤菊江さんに、対馬市から敬老祝い金を添えて褒状が贈られました。明治42年8月1日生まれの菊江さんは、昔、美津島町の女護島で民宿経営をしており、まだ、民宿があまりない時代で「軌道に乗るまでがとても不安だった」と話してくれました。

現在は、美津島町の高齢者グループホーム「真の大樹」で生活をされています。市長が帰る時には、自分で玄関先まで見送りに行かれるほど足腰も丈夫で、長生きの秘訣を尋ねると「あまり食べ過ぎないこと」と笑顔で話してくれました。元氣で長生きして下さい。

